

地区連絡を回してください。

令和7年9月24日
(公社) 横浜市獣医師会
事務局

日本獣医生命科学大学より、「日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター キックオフシンポジウム」の開催案内が届きましたので、お知らせ致します。申し込みは、各自でお願い致します。チラシは、容量が大きい為、下記のURL又はQRコードよりダウンロードをお願い致します。

<https://bit.ly/4nLFEZt>



閲覧有効期限は、11月10日(月)までとなります。
閲覧有効期限を過ぎると閲覧できなくなりますので、ご注意ください。

令和7年(2025年)9月19日

関係各位

日本獣医生命科学大学
ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター
センター長 田中 亜紀

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、「人と動物が健康で幸福に暮らすことのできる社会の実現」に向けた取り組みの一環として、2025年1月に「ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター」を設置いたしました。

このたび、センターの設立を記念し、下記のとおりキックオフシンポジウムを開催する運びとなりました。

つきましては、シンポジウムの開催案内ポスターを同封させていただきますので、ご高覧いただきますとともに、掲示等にてご周知賜れますと幸いです。

ご多用の折とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後とも、本学ならびに本センターの活動にご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【開催概要】

日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター キックオフシンポジウム

日時:2025年11月9日(日) 13:30~15:00

会場:日本獣医生命科学大学 E棟1階 E111 講義室

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1丁目7番1号

内容:センター概要説明、基調講演(田島木綿子 客員教授)

研究部門紹介(伴侶動物・産業動物・野生動物)

【お問合せ先】

日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター事務局

E-mail:research@nvl.ac.jp

以上

日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター キックオフ シンポジウム

11月

9日

日

時間

13:30

|

15:00

当日参加
OK

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンターは、「人と動物が健康で幸福に暮らすことのできる社会の実現」に向け、学内外で連携して推進することを目指し、2025年1月に設置されました。

新設置を記念し、キックオフシンポジウムを開催いたします。

プログラム

13:30 開会の挨拶・概要説明

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター長 田中 亜紀 特任教授



13:40 基調講演 「海岸に打ち上がる海の哺乳類から見てくるワンヘルス」

国立科学博物館・日本獣医生命科学大学 田島 木綿子 客員教授



14:20 研究部門紹介

伴侶動物部門「若齢犬・猫の疾患予防に向けた疫学調査」

獣医学部 獣医学科 道下 正貴 准教授



産業動物部門「牛の下痢に勝つ！お腹で戦う新しい腸管ワクチンの開発」

獣医学部 獣医学科 氏家 誠 准教授



野生動物部門「ストレスから読み解く、動物福祉と環境評価」

獣医学部 獣医保健看護学科 寫本 樹 講師



15:00 閉会の挨拶

詳細

日時：令和7年11月9日(日) 13:30～15:00

場所：日本獣医生命科学大学 E棟1階 E111講義室

内容：開会挨拶、基調講演、研究部門紹介、閉会挨拶

主催：日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター

参加対象：関係機関(JAC環境動物保護財団等)、研究者、企業、自治体、一般参加者など

お問合せ先：日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター事務局

research@nvlu.ac.jp

▽お申し込みはこちら



日本獣医生命科学大学

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター

人と動物と環境が健康で幸福に暮らすことのできる共生社会の実現

1 2025
1
新設置

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンターは、
「人と動物が健康で幸福に暮らすことのできる社会の実現」に向け、
学内外で連携して推進することを目的に、2025年1月に設置されました。

また、同センターは、「伴侶動物部門」「産業動物部門」「野生動物部門」の
3つの部門で運営をしております。

本学がこの分野の教育と研究をリードし、社会に貢献することを目指します。

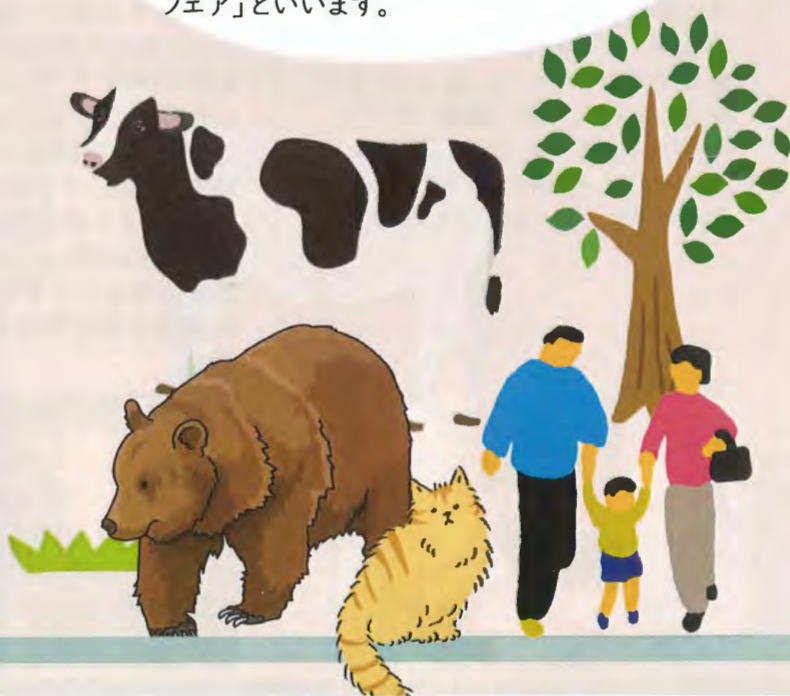
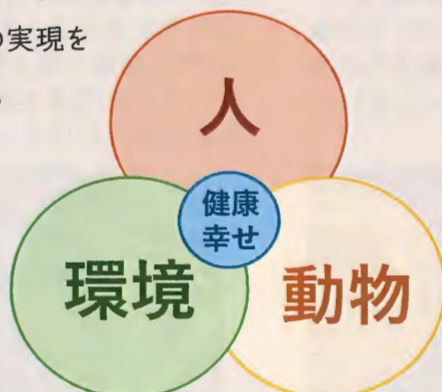
ワンヘルス (One Health) ってなに？

「人の健康」「動物の健康」「環境の健康」
は、深くつながっています。たとえば、動物から人にうつる病気が広がったり、環境破壊により野生動物の暮らしが乱れたりすると、それが人の暮らしにも悪影響を与えることがあります。健康を考えると「人・動物・環境」を一緒に守っていくことが大切で、この考え方を「ワンヘルス」といいます。

ワンウェルフェア (One Welfare) ってなに？

「人の幸せ」「動物の幸せ」「環境の心地よさ」も互いに深くつながっています。たとえば、ペットや家畜が快適に過ごせる環境があれば、その飼い主も心が安らぎますし、自然が豊かな場所では、動物も人ものびのびと暮らせます。このように、「人・動物・環境」が一緒に幸せになれる社会を作る考え方を「ワンウェルフェア」といいます。

「動物」「人」「環境」の
3つの言葉をキーワードに
健康で幸福に暮らすことのできる
共生社会の実現を
目指します。



伴侶動物部門



動物が身近にいて、ともに健康で
幸福に暮らせる社会の実現

産業動物部門



心身ともに健全な動物からの
良質な生産とその最大利用

野生動物部門



動物と人が安心して
暮らせる環境作り

動物 福祉

ペット業界の健全化
動物虐待への対応
動物の災害対策
適正飼養の促進

動物 福祉

動物福祉を実現した牧場
飼育環境の改善
科学的裏付け
人材育成

動物 福祉

野生動物の福祉
展示動物の福祉

繁殖 指導

適正な繁殖の促進
繁殖技術の向上
優良ブリーダーへの支援

動物 生産

繁殖技術の向上
効率的な飼養管理技術

保全

希少種の保護
生物多様性の保全
環境治療

疾病 予防

疾患の予防・治療
先天性・遺伝性疾患の対応
人医療への貢献

疾病 予防

遺伝要因と環境の制御
感染症の予防と治療
人獣共通感染症対策

疾病 予防

人獣共通感染症対策
家畜由来感染症の予防

飼い主 支援

飼い方・しつけ指導
高齢者への支援
ペットロスケア
介在療法

製品開発 質保証

安心安全な食品
おいしさの追求
代替品の開発

社会 支援

鳥獣被害対策
快適な飼育環境作り

各部門の取り組み

動物と人がともに 幸せに暮らすために

伴侶動物（人とともに生活を共にする動物）とヒトがともに健康で幸福に暮らせる社会の実現を目指し、動物虐待への対応、適正飼養の促進、疾患の予防・治療、先天性・遺伝性疾患への対応、適切な繁殖の促進、動物の災害対策など様々なことに取り組んでいます。



ニチジュウ×ウイルス逆遺伝学 —最新技術で牛や豚を病気から守る!—

ウイルス逆遺伝学とは、ウイルスの遺伝子を意図的に書き換えて、新しいウイルスを人工的に作る技術のことです。まるで“ウイルスのプログラムを編集する”ようなイメージです。ニチジュウの研究チームは、この技術を活用し、牛や豚の病気を防ぐ新しいワクチンの開発に取り組んでいます。この研究は、大切な家畜を病気から守るだけでなく、私たちの食の安全と安定供給にもつながっています。



動物も人も安心して暮らせる環境とは？ —ストレスから見た動物を取り巻く環境の評価—

近年、動物や人の健康状態を「目で見るだけ」では評価できない場合があることがわかってきました。そこで注目されるのが生理指標で、中でも「ストレス」は環境が生活に与える影響を知る手がかりとして広く用いられています。血液や糞、体毛からストレスホルモンの量を測定することで、見えない負担を数値化できます。ニチジュウでも、野生動物や展示動物のストレスを測り、その知見を生物多様性の保全や福祉向上に活かしています。

